

古座川町福祉計画アンケート実施内容報告書

古 座 川 町

地域福祉計画

障害者基本計画及び障害福祉計画

平成29年3月

和歌山県古座川町

— 目 次 —

1.	アンケート調査の実施	1
1-1	アンケート内容全文	2
1-2	アンケートの概要	12
1-3	アンケート回答簡易集計結果	13
2.	計画策定資料編	33
2-1	アンケート結果のまとめ	33
2-2	各福祉計画策定委員会開催日	34
2-3	古座川町障害者基本計画及び障害福祉計画策定委員名簿	35

1. アンケート調査の実施

(1) アンケートに記載の地域福祉計画とは

近年、少子高齢化、核家族化などによる家庭機能の低下や、人と人とのつながりが希薄になるといった状況を背景に、家庭や地域で相互に支え合う機能は弱まっています。特に一人暮らし高齢者世帯や介護サービスの需要の増加が起っています。

こうした社会のなかでは、従来の公的なサービスだけでは対応できない、さまざまな生活課題などがでてきており、町民一人ひとりの福祉問題が増大・多様化しています。

また、経済的な困窮者をはじめ認知症高齢者やひきこもりなど、分野や対象をこえた複雑・困難な課題も増大しています。

こうした課題は、公的支援制度だけでの対応は困難であり、町民や事業者、社会福祉協議会、行政（広域含む）等が連携してセーフティネットの仕組みをつくり、対応していくことが必要となっています。こうした流れを背景として、古座川町でも地域に住む人が福祉の受け手となるだけでなく、自らの福祉を推進し、また地域福祉の担い手になることが期待されています。

このため「地域福祉」においては、自分でできることは自らの努力でなす「自助」と地域などで助け合う「共助」と行政などが提供する公的援助である「公助」がバランスよく機能する仕組みや体制づくりが求められます。

そのため、本町におきましても、増加する福祉課題、多様化するニーズに対応できる、新しい地域の支え合いを推進するための計画を策定するものであります。

(2) アンケート調査の実施と本書について

上記の計画を策定するにあたり、公的サービスの需要や自助、共助で出来る範囲の福祉増進を図る仕組みや方向性を考えるため、また地域住民の方々の生活状況や地域活動との関わり合い、福祉に対する意識や考え方等の意見を幅広く把握することで、基礎資料として活用できるようにアンケート調査を実施しました。

その結果は、古座川町地域福祉計画書や古座川町障害者基本計画に一部抜粋、また判明した課題やニーズの提示を行っています。しかし、多くの方々に協力して頂いたアンケートの質問一覧やその結果全問までは、紙面の都合上資料として添付出来ませんでした。

そのため、本報告書である古座川町福祉計画アンケート実施内容報告書には、アンケート調査の実施時に実際配布した内容全文や、その結果の簡易集計一覧を記載し、調査結果内容を公表します。

1-1 アンケート内容全文

古座川町の地域福祉等に関するアンケート

■□■あなたの声を福祉のまちづくりに！！■□■

【調査ご協力をお願い】

町民の皆さまには、日頃から町政にご理解とご協力を賜り誠に有難く、厚くお礼申し上げます。古座川町では平成 28年度の「古座川町地域福祉計画」策定に向けて、取り組みを始めました。この計画は、住民が住み慣れた地域で安心して暮らし続けるまちづくりのために、行政と町民・関係機関や各団体が連携し、地域住民が互いに支え合い、助けあう仕組みづくりを、ともに考え、進めていくものです。

本調査は、この取り組みの一環として実施するものです。このアンケートを通じて「地域福祉」に対する町民の皆さまのお考えやご意見を反映させて、「地域福祉計画」策定にあたっての貴重な資料とさせていただくとともに、今後の福祉施策の推進に役立てていきたいと思っております。

なお、今回の調査は、本町在住の 20 歳以上の方の中から、無作為に 700 人を選ばせていただきました。調査票は無記名で、統計的に処理します。ご記入いただいた調査票を公表したり、調査の目的以外に使用したりすることは一切ありません。

ご多忙のところ、大変お手数をおかけいたしますが、アンケートにご協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成28年1月

古座川町

■□■ ご記入にあたっての注意事項 ■□■

1. あて名の方ご本人がお答えください（ご家族と相談していただいても結構です）。また、本人が記入できない場合は、ご家族の方が本人のお考えを聞きながらご記入ください。
2. 回答は、あてはまる答えの番号を○で囲むか、回答欄に回答を記入してください。「その他」を選んだ場合は、その具体的な内容を（ ）のなかに記入してください。
3. 選択する答えの数は「1つだけ」「あてはまるものすべて」「2つまで」などの指示に従ってください。
4. ご記入後は、この調査票を同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、2月10日（水）までにご投函ください。
5. ご不明な点は、下記までお問い合わせください。

お問い合わせ先 古座川町保健福祉センター内 役場健康福祉課（担当：橋本）
TEL：0735-67-7112 （古座川町川口254-1）

I. あなたご自身のことについてお伺いします

問1.あなたの性別はどちらですか。【〇は1つだけ】

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

問2.あなたの年齢はおいくつですか。

() 歳

問3.あなたの職業は次のうちどれですか。【〇は1つだけ】

- | | | | |
|--------------------------------|------------|-------------|--------------|
| 1. 自営業 | 2. 会社員 | 3. 公務員・団体役員 | 4. パート・アルバイト |
| 5. 学生 | 6. 専業主婦(夫) | 7. 無職 | 8. 年金生活者 |
| 9. その他() | | | |

問4.あなたが現在お住まいの地区はどこですか。【〇は1つだけ】

- | | | | | |
|---------|---------|---------|----------|---------|
| 1. 高池地区 | 2. 明神地区 | 3. 小川地区 | 4. 三尾川地区 | 5. 七川地区 |
|---------|---------|---------|----------|---------|

問5.現在の地区に、何年住んでいますか。【〇は1つだけ】

- | | | | |
|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 1. 1年未満 | 2. 1～5年未満 | 3. 5～10年未満 | 4. 10～20年未満 |
| 5. 20～30年未満 | 6. 30～40年未満 | 7. 40～50年未満 | 8. 50年以上 |

問6.あなたは現在、どのような家族構成で暮らしていますか。【〇は1つだけ】

- | | | |
|--------------|--------------------------------|------------|
| 1. 単身 | 2. 夫婦のみ | 3. 親・子の2世代 |
| 4. 親・子・孫の3世代 | 5. その他() | |

問7.現在、あなた自身、もしくはあなたが同居している家族の中に、次のような方はいますか？

【〇はあてはまるものすべて】

- | | | | |
|-------------|--------------|----------------------|------------|
| 1. 乳児(1歳未満) | 2. 1歳以上の幼児 | 3. 小学生 | 4. 中学生・高校生 |
| 5. 65歳以上の方 | 6. 介護を必要とする方 | 7. 身体・知的・精神などの障害のある方 | |
| 8. いずれもない | | | |

問8.現在暮らしている住宅は次のどれにあたりますか。【〇は1つだけ】

- | | | | |
|-------------|--------------------------------|-----------|---------|
| 1. 持家(一戸建て) | 2. 借家(一戸建て) | 3. 賃貸アパート | 4. 公営住宅 |
| 5. 社宅・寮 | 6. その他() | | |

Ⅱ. 地域との関わりについてお伺いします

問9. あなたにとって「地域」とは、どういった範囲のことだと思いますか。あなたの感じに近いものを選んでください。【〇は1つだけ】

- | | | | |
|-----------|---------------|--------------------------|--------------|
| 1. 隣近所 | 2. 町内会・区（自治会） | 3. 旧町村区（高池、明神、小川、三尾川、七川） | |
| 4. 古座川町全体 | 5. その他（ | ） | 6. 意識したことはない |

問10. あなたが考える「地域」で現在、活動に参加しているのは、どのような分野ですか。【〇はあてはまるものすべて】

- | | |
|--|---|
| 1. 高齢者関係（老人クラブ活動等への協力支援や施設訪問交流など） | |
| 2. 障害者関係（手話や生活支援や施設訪問交流など） | |
| 3. 子育て関係（託児、育児相談や育児サークルなどの支援や施設訪問交流など） | |
| 4. 保健・医療関係（健康教室等の支援・指導、通院支援や病院訪問交流など） | |
| 5. 青少年関係（悩み相談や交流、地域子供会活動等による健全育成支援など） | |
| 6. 環境関係（自然愛護やクリーンキャンペーン、リサイクル運動など） | |
| 7. 自治会・行政関係（町内・自治会等の役員・協力者、各種委員など） | |
| 8. その他（ | ） |
| 9. 参加していない | |

問11. 問10で「9. 参加していない」と答えた方にお聞きします。参加していない理由は何ですか。【〇は3つまで】

- | | |
|--------------------|--------------------------|
| 1. 仕事をもっているので時間がない | 2. どのような活動があるのかわからない |
| 3. 興味もてる活動が見つからない | 4. 健康や体力に自信がない |
| 5. 家事・育児に忙しくて時間がない | 6. 病人・高齢者・障害者の介護などで時間がない |
| 7. 学校協力活動で時間がない | 8. 地域活動をするうえでの経済的負担が大きい |
| 9. 家族の理解がない | 10. 地域にあまり関わりたくない |
| 11. 地域活動は必要がないと思う | |
| 12. その他（ | ） |

問12. あなたは、お住まいの地域に愛着をお持ちですか。【〇は1つだけ】

- | | | |
|--------------|--------------|-------------|
| 1. とても愛着がある | 2. ある程度愛着がある | 3. あまり愛着がない |
| 4. まったく愛着がない | 5. わからない | |

Ⅲ. 近所との関わりについてお伺いします

問13. あなたは、近所の人とどの程度のお付き合いをしていますか。【〇は1つだけ】

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1. 非常に親しく付き合っている | 2. 親しく付き合っている |
| 3. あいさつをする程度の付き合い | 4. 付き合いは、ほとんどない |

問14. あなたは、町内会・区（自治会）等の活動にどの程度参加していますか。【〇は1つだけ】

- | | |
|---------------|-------------------------|
| 1. よく参加している | 2. ある程度参加している |
| 3. あまり参加していない | 4. ほとんど、あるいはまったく参加していない |

問15. 問14で「3. あまり参加していない」「4. ほとんど、あるいはまったく参加していない」と答えられた方にお聞きします。町内会・区（自治会）の活動に参加しない主な理由は何ですか。【〇は3つまで】

- | |
|-----------------------------------|
| 1. 参加したいが、何を、いつ、どこでやっているのかわからないから |
| 2. 参加したいが、病気や障害など身体的な理由で、参加しづらいから |
| 3. 参加したいが、その場所に行く方法や交通手段がないから |
| 4. 参加したいが、一人で参加するのは心細いから |
| 5. 役員などになっていないから |
| 6. 仕事や家事・介護・育児など、他にやることがあって忙しいから |
| 7. 行事や活動の内容に興味や関心がなく、参加したいと思わないから |
| 8. 自分の趣味や余暇活動を優先したいから |
| 9. 付き合いがわずらわしいから |
| 10. その他（ ） |

Ⅳ. 地域福祉に対する考えについてお伺いします

問16. あなたは、ご自身の「高齢期（65歳以降）」を主にどのように過ごしたいとお考えですか。
あるいは過ごしている中で心掛けているお考えはありますか。
【〇は1つだけ】

- | |
|------------------------------|
| 1. 経済的に自立するために、現役同様に働きたい |
| 2. 収入にこだわらないが、働くことは継続していきたい |
| 3. 趣味や余暇を楽しみたい |
| 4. 知識や教養を高め自分自身の向上に努めたい |
| 5. 地域に貢献できるようなボランティア活動などをしたい |
| 6. 特に何もしないでのんびりと過ごしたい |
| 7. その他（ ） |
| 8. わからない |

問17. 近所に住んでいる、何らかの支援を必要としている方（一人暮らしの高齢者・介護をしている家族、子育て中の家族等）への支援（日常生活上の手助け・お手伝い）について、あなたの考えに最も近いものはどれですか。【〇は1つだけ】

- | | |
|----------------------------------|------------|
| 1. 近所に住む者として、できる範囲で支援したい | |
| 2. 支援をしたいが、何をすればいいのかわからない | |
| 3. 支援をしたいが、自分のことで精一杯でその余裕がない | |
| 4. 支援は町役場などがやる仕事なので、近所の者がしなくてもよい | |
| 5. 余計なお世話になってしまうので、支援はしない | |
| 6. その他（ | ） 7. わからない |

問18. 隣近所に介護や子育てで困っている家庭があった場合、あなたはどのような手助けができますか。【〇はあてはまるものすべて】

- | | |
|-----------------|-------------------|
| 1. 見守りや安否確認の声かけ | 2. お年寄りの話し相手 |
| 3. 買い物の手伝い | 4. 家事の手伝いや草刈・農作業等 |
| 5. お弁当の配食 | 6. 通院などの外出の手伝い |
| 7. 短時間の子どもの預かり | 8. 災害時の手助け |
| 9. 悩み事の相談相手 | 10. その他（ |
| 11. 手助けできない | 12. 特にない |

問19. あなた、あるいはご家族は、日々の生活において主にどのような悩みや不安を感じていますか。【〇は3つまで】

- | | | |
|------------------|----------------|---------------|
| 1. 自分や家族の健康のこと | 2. 自分や家族の老後のこと | 3. 生きがいに関すること |
| 4. 子育てに関すること | 5. 介護の問題 | 6. 経済的な問題 |
| 7. 隣近所との関係 | 8. 住宅のこと | 9. 地域の治安のこと |
| 10. 災害時の備えに関すること | 11. 人権問題に関すること | 12. その他（ |
| 13. 悩みや不安はない | | ） |

問20. 悩みや不安について、誰に、もしくはどこに相談していますか。【〇はあてはまるものすべて】

- | | | |
|----------------------------------|----------------------|--------------|
| 1. 家族・親族 | 2. 近所の人、友人・知人 | 3. 職場の上司や同僚 |
| 4. 町の相談窓口や職員 | 5. 民生委員・児童委員 | 6. 人権擁護委員 |
| 7. 自治会などの役員 | 8. 社会福祉協議会の窓口や職員 | 9. 保健所の窓口や職員 |
| 10. 地域包括支援センター・介護支援専門員（ケアマネージャー） | 11. ボランティア | |
| 12. 福祉サービスの事業所やその職員 | 12. 医療機関（医師・看護師等）や薬局 | |
| 13. NPO やその他の民間団体 | 15. その他（ | ） |
| 16. どこに相談してよいかわからない | 17. 相談できる人や場所がない | |

問28. 町には、地域福祉を推進し、社会福祉への住民参加を促し意識の高揚を図るための諸活動を行う「古座川町社会福祉協議会」があります。あなたは、社会福祉協議会にどのようなことを期待しますか。

【〇は3つまで】

1. 訪問介護等の介護保険サービスの充実
2. 介護保険制度以外の在宅福祉サービスの充実
3. 児童福祉サービス、子育て支援の充実
4. 児童・生徒・地域住民を対象とした福祉教育、ボランティア活動等の充実
5. 福祉に関する情報提供の充実（インターネット等を含む）
6. 近隣同士の助け合いの仕組みづくりとその充実
7. NPO 活動などへの支援
8. 福祉に対する要望、ニーズの把握とサービスの企画・実施
9. 福祉に関する相談や苦情の受付
10. 福祉団体への支援や育成
11. 地域福祉権利擁護事業（一人暮らしの認知症の高齢者や知的障害のある人など、一人で判断することが難しい方に対する金銭管理等のサービスや福祉サービス等利用支援）
12. 福祉に関する学習や講習、講演会などの開催
13. その他（）
14. 特に期待することはない

VII. ボランティア活動や福祉教育についてお伺いします

問29. あなたは、今までにどのようなNPO やボランティア活動に参加したことがありますか。

【〇はあてはまるものすべて】

1. 高齢者に関する活動（高齢者の見守り活動・趣味のクラブ活動等への協力・老人施設等訪問）
2. 障害のある人に関する活動（手話や音読・点字訳による支援や外出支援、施設訪問）
3. 子育てに関する活動（託児・子育て相談や子育てサークル支援）
4. 保健に関する活動（健康教室等の支援、献血ボランティアとしての活動）
5. 青少年に関する活動（悩み相談や交流、子ども会活動などの支援）
6. 環境美化に関する活動（自然愛護や美化活動、リサイクル運動）
7. 福祉のまちづくりに関する活動（地区社協活動、福祉マップづくり）
8. 人権が尊重されるまちづくりに関する活動
9. 国際交流に関する活動
10. 災害時の救援などに関する活動
11. 地域の行事のお手伝い
12. その他（）
13. 参加した経験はない

問30. あなたは、今後、どのようなNPOやボランティア活動に参加したいですか。

【〇はあてはまるものすべて】

1. 高齢者に関する活動	2. 障害のある人に関する活動
3. 子育てに関する活動	4. 保健に関する活動
5. 青少年に関する活動	6. 環境美化に関する活動
7. 福祉のまちづくりに関する活動	8. 人権が尊重されるまちづくりに関する活動
9. 国際交流に関する活動	10. 災害時の救援などに関する活動
11. 地域の行事のお手伝い	12. その他()
13. 参加したい活動はない	

問31. 今後、どのような条件が整えばNPOやボランティア活動に参加しやすくなると思いますか。

【〇は3つまで】

1. 自分にあった時間や内容の活動があれば参加してみたい
2. 自分の仕事や特技を生かせることがあれば参加してみたい
3. 活動資金の補助、援助の充実がなされるのであれば参加してみたい
4. 平日夜間や休日のボランティア講座を受けてから参加してみたい
5. 友人や家族と一緒に活動できるのであれば参加してみたい
6. 家族や職場の理解が得られれば参加してみたい
7. 自分の所属する学校や職場の活動であれば参加してみたい
8. ボランティアグループに入れるのであれば参加してみたい
9. 身近な団体や活動内容に関する情報があれば参加してみたい
10. 活動参加によるメリット（進学や就職に有利、若干でも報酬がある等）があれば参加してみたい
11. その他()
12. どんな条件が整っても興味もなく、参加してみたいとは思わない

問32. 子どもたちに対する福祉教育（思いやりの心や福祉への理解と参加の心を育てる教育）について、どのように行なうべきだと思いますか。【〇は1つだけ】

1. 学校教育の中で学ぶ	2. 家庭の中で親から学ぶ
3. 地域の活動などを通じて学ぶ	4. 生活していく中で自然に身につく
5. 特に必要はない	6. その他()
7. わからない	

1-2 アンケートの概要

本計画を策定するにあたり、アンケート調査を実施しました。

①アンケートの数量と回収率について

- ・ アンケートの回収率は平均3割前後、人口3,000弱の街だと、標本誤差5%（調査としてのずれが5%以内）にするには、回収数320-330通を目指す必要があり、そのためには約1,000通分のアンケートが必要です。ただし、前回の調査結果を参考に回収率5割を想定して700通分を用意しました。
- ・ その他、アンケートの数をカバーする、あるいは質問数を減らすため、障害福祉であれば圏域自立支援協議会や各事業所から数字を教えて貰い、また、地域福祉であれば子ども子育て計画や介護福祉計画の部分ですでにあるものを流用するなどを行いました。

②アンケートの必要項目について

1. 回答者の所属、属性を聞く
 2. 地域のイメージ（自身の思う地域とは）、その地域への参加と思うこと（町内会への参加、何かしらの運動活動）とその活動の有無
 3. 近所付き合いの有無
 4. 地域福祉に対するイメージ
 5. 福祉サービスへの意識について
 6. 民生児童委員等の団体に対する意識
 7. 行政への質問、要望等
- があり、一部この地域の特性に合わせた質問を加えています。

（1）調査と結果

- 調査地域 : 古座川町全域
- 調査対象者 : 町内在住で20歳以上90歳未満の世帯主700人を世帯別に無作為抽出
- 調査時期 : 平成28年1月～2月
- 調査方法 : 郵送で配布回収した調査票へ本人（記入困難の場合代筆者）が記入
- 調査結果 : 配布数700通で回答は361通（回収率51.6%）

（2）平成18年度第1期障害者基本計画策定時のアンケート結果 【参考】

- 調査地域 : 古座川町全域
- 調査対象者 : 町内在住で障害者手帳所持者等300人
- 調査時期 : 平成18年8月実施
- 調査方法 : 郵送で配布回収した調査票へ本人（記入困難の場合代筆者）が記入
- 調査結果 : 配布数300通で回答は211通（回収率70.3%）

1-2 アンケート回答簡易集計結果

I. あなたご自身のことについてお伺いします

問1.あなたの性別はどちらですか。【〇は1つだけ】

1. 男性	237名
2. 女性	119名
*未回答	5名

問2.あなたの年齢はおいくつですか。

1. 20代	2名	0.6%	2. 30代	11名	3.0%
3. 40代	18名	5.0%	4. 50代	34名	9.4%
5. 60代	92名	25.5%	6. 70代	103名	28.5%
7. 80代	96名	26.6%	8. 年代不明	5名	1.4%

問3.あなたの職業は次のうちどれですか。【〇は1つだけ】

1. 自営業	39名	10.8%
2. 会社員	29名	8.0%
3. 公務員・団体役員	20名	5.5%
4. パート・アルバイト	20名	5.5%
5. 学生	0名	0%
6. 専業主婦(夫)	5名	1.4%
7. 無職	56名	15.5%
8. 年金生活者	174名	48.2%
9. その他()	15名	4.2%
*未回答	3名	0.8%

問4.あなたが現在お住まいの地区はどこですか。【〇は1つだけ】

1. 高池地区	153名	42.4%
2. 明神地区	66名	18.3%
3. 小川地区	24名	6.6%
4. 三尾川地区	41名	11.4%
5. 七川地区	74名	20.5%
*未回答	3名	0.8%

問5.現在の地区に、何年住んでいますか。【〇は1つだけ】

1. 1年未満	9名	2.5%
2. 1～5年未満	22名	6.1%
3. 5～10年未満	20名	5.5%
4. 10～20年未満	38名	10.5%
5. 20～30年未満	35名	9.7%
6. 30～40年未満	39名	10.8%
7. 40～50年未満	36名	10.0%
8. 50年以上	160名	44.3%
*未回答	2名	0.6%

問6.あなたは現在、どのような家族構成で暮らしていますか。【〇は1つだけ】

1. 単身	120名	33.3%
2. 夫婦のみ	125名	34.6%
3. 親・子の2世代	91名	25.2%
4. 親・子・孫の3世代	10名	2.8%
5. その他（ ）	12名	3.3%
*未回答	3名	0.8%

問7.現在、あなた自身、もしくはあなたが同居している家族の中に、次のような方はいますか？

【〇はあてはまるものすべて】

1. 乳児（1歳未満）	3名	0.9%
2. 1歳以上の幼児	15名	4.6%
3. 小学生	12名	3.6%
4. 中学生・高校生	13名	4.0%
5. 65歳以上の方	122名	37.1%
6. 介護を必要とする方	26名	7.9%
7. 身体・知的・精神などの障害のある方	17名	5.2%
8. いずれもない	160名	48.6%

（未回答者 32名分除く）

問8.現在暮らしている住宅は次のどれにあたりますか。【〇は1つだけ】

1. 持家（一戸建て）	313名	86.7%
2. 借家（一戸建て）	29名	8.0%
3. 賃貸アパート	0名	0%
4. 公営住宅	12名	3.3%
5. 社宅・寮	0名	0%
6. その他（ ）	5名	1.4%
*未回答	2名	0.6%

II. 地域との関わりについてお伺いします

問9.あなたにとって「地域」とは、どういった範囲のことだと思いますか。あなたの感じに近いものを選んでください。【〇は1つだけ】

1. 隣近所	48名	13.3%
2. 町内会・区（自治会）	102名	28.3%
3. 旧町村区（高池、明神、小川、三尾川、七川）	85名	23.5%
4. 古座川町全体	98名	27.1%
5. その他（ ）	2名	0.6%
6. 意識したことはない	22名	6.1%
*未回答	6名	1.7%
*重複回答あり 2名で4件の回答、オーバー件数2件		

問10.あなたが考える「地域」で現在、活動に参加しているのは、どのような分野ですか。

【〇はあてはまるものすべて】

1. 高齢者関係（老人クラブ活動等への協力支援や施設訪問交流など）	60名	16.9%
2. 障害者関係（手話や生活支援や施設訪問交流など）	1名	0.3%
3. 子育て関係（託児、育児相談や育児サークルなどの支援や施設訪問交流など）	3名	0.8%
4. 保健・医療関係（健康教室等の支援・指導、通院支援や病院訪問交流など）	4名	1.1%
5. 青少年関係（悩み相談や交流、地域子供会活動等による健全育成支援など）	4名	1.1%
6. 環境関係（自然愛護やクリーンキャンペーン、リサイクル運動など）	90名	25.4%
7. 自治会・行政関係（町内・自治会等の役員・協力者、各種委員など）	104名	29.4%
8. その他（ ）	19名	5.4%
9. 参加していない	147名	41.5%
（未回答者 7名分除く）		

問11. 問10で「9. 参加していない」と答えた方にお聞きします。参加していない理由は何ですか。

【〇は3つまで】

1. 仕事をもっているので時間がない	40名
2. どのような活動があるのかわからない	23名
3. 興味のもてる活動が見つからない	23名
4. 健康や体力に自信がない	53名
5. 家事・育児に忙しくて時間がない	3名
6. 病人・高齢者・障害者の介護などで時間がない	12名
7. 学校協力活動で時間がない	0名
8. 地域活動をするうえでの経済的負担が大きい	1名
9. 家族の理解がない	1名
10. 地域にあまり関わりたくない	4名
11. 地域活動は必要がないと思う	3名
12. その他 ()	23名

問12. あなたは、お住まいの地域に愛着をお持ちですか。【〇は1つだけ】

1. とても愛着がある	158名	43.8%
2. ある程度愛着がある	161名	44.6%
3. あまり愛着がない	21名	5.8%
4. まったく愛着がない	4名	1.1%
5. わからない	14名	3.9%
*未回答	3名	0.8%

Ⅲ. 近所との関わりについてお伺いします

問13. あなたは、近所の人とどの程度のお付き合いをしていますか。【〇は1つだけ】

1. 非常に親しく付き合っている	57名	15.8%
2. 親しく付き合っている	205名	56.8%
3. あいさつをする程度の付き合い	88名	24.4%
4. 付き合いは、ほとんどない	5名	1.4%
*未回答	6名	1.6%

問14. あなたは、町内会・区（自治会）等の活動にどの程度参加していますか。【〇は1つだけ】

1. よく参加している	100名	27.7%
2. ある程度参加している	167名	46.3%
3. あまり参加していない	53名	14.7%
4. ほとんど、あるいはまったく参加していない	34名	9.4%
*未回答	7名	1.9%

問15. 問14で「3. あまり参加していない」「4. ほとんど、あるいはまったく参加していない」と答え
た方にお聞きします。町内会・区（自治会）の活動に参加しない主な理由は何ですか。【〇は3つまで】

1. 参加したいが、何を、いつ、どこでやっているのかわからないから	10名
2. 参加したいが、病気や障害など身体的な理由で、参加しづらいから	30名
3. 参加したいが、その場所に行く方法や交通手段がないから	5名
4. 参加したいが、一人で参加するのは心細いから	7名
5. 役員などになっていないから	5名
6. 仕事や家事・介護・育児など、他にやることがあって忙しいから	22名
7. 行事や活動の内容に興味や関心がなく、参加したいと思わないから	9名
8. 自分の趣味や余暇活動を優先したいから	11名
9. 付き合いがわずらわしいから	8名
10. その他（ ）	13名

IV. 地域福祉に対する考えについてお伺いします

問16. あなたは、ご自身の「高齢期（65歳以降）」を主にどのように過ごしたいとお考えですか。
あるいは過ごしている中で心掛けているお考えはありますか。【〇は1つだけ】

1. 経済的に自立するために、現役同様に働きたい	31名	8.6%
2. 収入にこだわらないが、働くことは継続していきたい	75名	20.8%
3. 趣味や余暇を楽しみたい	125名	34.6%
4. 知識や教養を高め自分自身の向上に努めたい	25名	6.9%
5. 地域に貢献できるようなボランティア活動などをしたい	20名	5.5%
6. 特に何もしないでのんびりと過ごしたい	54名	15.0%
7. その他（ ）	12名	3.3%
8. わからない	17名	4.7%
*未回答	12名	3.3%
重複回答あり	8名で18件の回答、オーバー件数10件	

問17. 近所に住んでいる、何らかの支援を必要としている方（一人暮らしの高齢者・介護をしている家族、子育て中の家族等）への支援（日常生活上の手助け・お手伝い）について、あなたの考えに最も近いものはどれですか。【○は1つだけ】

1. 近所に住む者として、できる範囲で支援したい	169名	46.8%
2. 支援をしたいが、何をすればいいのかわからない	20名	5.5%
3. 支援をしたいが、自分のことで精一杯でその余裕がない	105名	29.1%
4. 支援は町役場などがやる仕事なので、近所の者がしなくてもよい	1名	0.3%
5. 余計なお世話になってしまうので、支援はしない	19名	5.3%
6. その他（ ）	15名	4.2%
7. わからない	14名	3.9%
*未回答	19名	5.3%
*重複回答あり 1名で2件の回答、オーバー件数1件		

問18. 隣近所に介護や子育てで困っている家庭があった場合、あなたはどのような手助けができますか。【○はあてはまるものすべて】

1. 見守りや安否確認の声かけ	190名	55.7%
2. お年寄りの話し相手	103名	30.2%
3. 買い物の手伝い	81名	23.8%
4. 家事の手伝いや草刈・農作業等	63名	18.5%
5. お弁当の配食	4名	1.2%
6. 通院などの外出の手伝い	52名	15.2%
7. 短時間の子どもの預かり	15名	4.4%
8. 災害時の手助け	113名	33.1%
9. 悩み事の相談相手	46名	13.5%
10. その他（ ）	12名	3.5%
11. 手助けできない	38名	11.1%
12. 特にない	27名	7.9%
(未回答者 20名分除く)		

問19.あなた、あるいはご家族は、日々の生活において主にどのような悩みや不安を感じていますか。【〇は3つまで】

1. 自分や家族の健康のこと	232名	66.7%
2. 自分や家族の老後のこと	188名	54.0%
3. 生きがいに関すること	20名	5.7%
4. 子育てに関すること	14名	4.0%
5. 介護の問題	98名	28.2%
6. 経済的な問題	74名	21.3%
7. 隣近所との関係	22名	6.3%
8. 住宅のこと	13名	3.7%
9. 地域の治安のこと	17名	4.9%
10. 災害時の備えに関すること	75名	21.6%
11. 人権問題に関すること	4名	1.1%
12. その他 ()	7名	2.0%
13. 悩みや不安はない	19名	5.5%
(未回答者 13名分除く)		

問20.悩みや不安について、誰に、もしくはどこに相談していますか。【〇はあてはまるものすべて】

1. 家族・親族	254名	75.1%
2. 近所の人、友人・知人	116名	34.3%
3. 職場の上司や同僚	11名	3.3%
4. 町の相談窓口や職員	23名	6.8%
5. 民生委員・児童委員	13名	3.8%
6. 人権擁護委員	1名	0.3%
7. 自治会などの役員	15名	4.4%
8. 社会福祉協議会の窓口や職員	16名	4.7%
9. 保健所の窓口や職員	2名	0.6%

10. 地域包括支援センター・介護支援専門員（ケアマネージャー）	28名	8.3%
11. ボランティア	1名	0.3%
12. 福祉サービスの事業所やその職員	14名	4.1%
13. 医療機関（医師・看護師等）や薬局	46名	13.6%
14. NPO やその他の民間団体	0名	0.0%
15. その他（ ）	22名	6.5%
16. どこに相談してよいかわからない	16名	4.7%
17. 相談できる人や場所がない	20名	5.9%
（未回答者 23名分除く）		

問21.住民同士がともに支えあう地域づくりを進めるために、どのようなことを行う必要があると思いますか。【〇は2つまで】

1. 地域の人々が知り合い、触れ合う機会を増やすこと	200名	60.6%
2. 同じ立場にある人同士が力をあわせること	80名	24.2%
3. 支えあう地域づくりに関する情報の提供や意識啓発をすること	80名	24.2%
4. 地域の町内会・自治会等の活動や社会福祉協議会、ボランティア活動への参加をうながすこと	42名	12.7%
5. 地域で活動するさまざまな団体相互の交流を進めること	39名	11.8%
6. その他（ ）	6名	1.8%
7. わからない	44名	13.3%
（未回答者 31名分除く）		

問22.あなたは現在、生活環境や日常生活で困っていることがありますか。ありましたら、下の欄に箇条書きで簡単にお書きください。（個人名等が特定される部分は修正済み）

- ・買い物が不便。
- ・獣害、子供が安全に遊べる場所がない、違法駐車常習化（交通安全）。
- ・公共交通の本数が少ないので困る。
- ・①日用品の買物 ②医療機関への通院 ③休耕田の保全管理（活用を考えてほしい）
- ・交通の本数・通院の時間。
- ・買い物難民になりつつあります。週に一回位高齢者を買い物に連れて頂きたいと思えます。他県ではそのような事をやっている地域もあるようです。
- ・下水道の設備がない。（劣化及び不備）
- ・医療機関への通院が大変困ります。古座、高池は串本まで行かねば成りません。交通困ります。
- ・草刈・道路が整備されない。
- ・串本病院の通院のバスの回数が少ない。
- ・82歳すぎると一人で新宮医療センターへ行けないので車で乗せてもらって行っています。
- ・公共交通の関係、便利が悪い。
- ・交通機関近くまで来てほしい。家より15分か20分公共交通まで時間がかかる。
- ・日用品の買物・副食品。
- ・古座川にはコミュニケーションの場がない。もっと人と人とが新しい情報を得、知識が得られる、そして論議できる場作りが大切。またボランティア団体のようなものも大切。
- ・車が無い為日用品の買物、医療機関への通院、金融機関でのお金の出し入れ。
- ・医療機関への通院等。
- ・村には日用品がないため古座、串本まででていくが公共交通が少ないので不便、あと一本ふるさとバスを増やしてほしい。
- ・高齢のため現在の交通手段（車運転）が出来なくなった時日常生活が困る。
- ・自分が運転できる間はいいが運転できなくなった時バスに乗る場所まで歩く（10分～15分）のがすごく大変になる。
- ・公共交通機関が通っていないので不便。
- ・運転免許を後々、なくなった時はバス、電車利用がなかなか大変になるだろうと思う。本数も少ないし、自分が買物、通院などに利用するにしても時間待ちで長時間になるので疲れてしまうだろう。
- ・生活が本当に苦しいです。ふるさとバスはあと1便欲しい。
- ・住んでいる地区にバスがない（ふるさとバスを利用したくても別の地区まで出なければならぬ）。
- ・粗大ゴミを処分したくても車や人手がなく処分できない。

- ・ 日常の買物など、又通院等。
- ・ 身体が悪いため日用品の買物が自分で出来ない。
- ・ 夜、シカが多くて車の運転をしていると危険な時がある。
- ・ 地域に商店が無く 5 日に 1 度串本方面に行く。いつまで続けられるか不安な時があります。
- ・ 古座、串本が遠くなってきた。
- ・ 救急時の医療が心配です。
- ・ スーパーが遠いので一人で行けない。
- ・ 山の高い所から水を引いているため、高齢者ばかりで、かけに行く人がなくて困っている。
- ・ 日常の買物に時間とお金がかかる、物価が高い、奥へ行くほど不便である。
- ・ 日用品の買物、医療機関が少ない。
- ・ 近くに住んでいる親が高齢化（90 才）し、日に日に自活が難しくなってくる。
- ・ 役場が土、日利用できない。（土曜日に住民票をもらおうと電話したがことわられた）
- ・ 小児科が近くにほしい。
- ・ 田んぼの管理。
- ・ 同居している家族はいるが、日中は一人なので、急に体調が悪くなった時は不安です。
- ・ 職さがしをしているが、病気の為さがせない。もう金がない。
- ・ 行政の地域（古座川町に限る）の活性化や観光への意識が皆無と言っていい程無さすぎる。（方向性が間違っている）
- ・ 日用品の買物ができない。公共交通機関の本数が少ない。
- ・ 医療機関へ通院する場合遠いため交通の便が悪いので通院時間費用が多くかかる。
- ・ 医療機関への通院が車の運転が出来なくなった時、医療センターまで通院が必要な場合、交通機関が本当に困ります。病院の予約時間に間に合わないので大変困ります。そのような時はどこに連絡して協力してもらえば良いのでしょうか？
- ・ 生活用品の買物が足不自由のため思うように行かない。
- ・ 人との交流（ご近所）がない。
- ・ 今の所車も乗れるので別に不自由は感じませんが、これからどうなるかと不安です。1 日でもおそく一人でもがんばればと思っています。
- ・ 名ばかりの病院、もっと良い先生のいる病院を求める。学校を作り良い人材をこの地にとどまらせる政策が必要、そして健康に関するの予防を実践する事を政策として展開し意識啓発を行う。
- ・ 買い物する店がすくない。
- ・ 通院するのが大変。
- ・ 買い物や通院が遠く、バスなどの本数を増してほしい。 ※ケイタイが繋がらない

- ・食事の買物に行くのが足が悪いので行きにくい。
- ・近くの高齢の方、ちょっとついでに買い物してあげたら、次は仕事休んででも医者へ連れてくれと言われ驚いた（隣町に子供がいるのに・・・）親切が当たり前の様になってくるので近所付き合いに抵抗を感じる。
- ・医療費が高い、経済的に困る。
- ・家の周囲の草刈や修理（廃屋になるまで）の管理。
- ・交通機関の本数が少ない。
- ・交通機関が不便で日用品の買物が、一人ではできにくい。一人で買物に行けない。
- ・日用品の買物に困る。
- ・医療機関への通院について。近所の方の通院の手助けをしていたが高齢のため、運転が不安に成り、七川区外の通院に付いては困難になるばかり。交通機関を考えてほしい。
- ・道路が狭い。困ってはいないが何かにつけて不便である。
- ・風呂場の天井の掃除（よごれ）。
- ・子供の行事が少ない。
- ・日常生活では毎日の痛みが大変です。
- ・運転マナーが悪い。良くも悪くも、田舎らしさを感じる。夜勤で昼間に睡眠が必要な時に、朝、昼の時報のサイレンは大変不愉快。
- ・日用品の買物。
- ・例の様な事に同感です。
- ・地域活動が唯一の休日が多いので参加の意識があっても身体を休めたいので参加出来ない事が多く、無理をして参加もしているが疲れが回復出来ないまま、又仕事に入るのでストレスになってしまっている。

V. 福祉サービスに対する意識についてお伺いします

問23. あなたご自身やあなたの家族に福祉サービスが必要になったとき、すぐにサービスを利用しますか。【○は1つだけ】

1. 抵抗なく利用したい	191名	52.9%
2. 抵抗はあるが利用したい	104名	28.8%
3. 抵抗があるので利用したくない	9名	2.5%
4. わからない	42名	11.6%
*未回答	15名	4.2%

問24.もし、あなたの家族のどなたかに介護が必要になった場合、あなたはどのようにしたいとお考えですか。【〇は1つだけ】

1. 家族だけで介護をする	7名	1.9%
2. 家族が中心となって介護をするが、足りないところは福祉サービスを利用する	168名	46.5%
3. 積極的に福祉サービスを利用して在宅で介護をする	69名	19.1%
4. できれば福祉施設で介護してもらいたい	72名	19.9%
5. その他 ()	6名	1.7%
6. わからない	18名	5.0%
*未回答	23名	6.4%
*重複回答あり 2名で4件の回答、オーバー件数2件		

問25.多くの福祉サービスは、利用者が自由にサービスを選んで利用できるようになりました。利用者が自分に最適のサービスを安心して利用するためには、町では今後どのようなことに取り組む必要があると思いますか。【〇は3つまで】

1. 福祉サービスに関する情報提供を充実させる	211名	61.9%
2. 適切な相談対応やサービス選択の支援ができる体制を整える	196名	57.5%
3. サービスに関する苦情や事業者とのトラブル解決の支援体制を整える	56名	16.4%
4. サービスの内容を評価する仕組みを整える	37名	10.9%
5. 行政やサービス事業者の情報公開を進める	76名	22.3%
6. 町民が福祉にかかわる法律や制度を学習できる機会を増やす	41名	12.0%
7. サービス利用者の権利を保護する仕組みを作る	53名	15.5%
8. その他 ()	8名	2.3%
9. わからない	39名	11.4%
(未回答者 20名分除く)		

問26.福祉サービスに関する情報はどこから入手していますか。【〇はあてはまるものすべて】

1. 家族・親戚	85名	24.7%
2. 近所の人、友人・知人	124名	36.0%
3. 民生委員・児童委員	33名	9.6%
4. 学校や職場	13名	3.8%
5. 町の広報紙やパンフレット	137名	39.8%
6. 古座川町のホームページ	16名	4.7%
7. 町役場や保健福祉センターなどの窓口	59名	17.2%
8. 社会福祉協議会の窓口や広報・パンフレット	63名	18.3%
9. 地域包括支援センター・介護支援専門員（ケアマネージャー）	63名	18.3%
10. 福祉サービスの事業所またはその職員	34名	9.9%
11. 保健所	2名	0.6%
12. 医療機関（医師・看護師等）や薬局	28名	8.1%
13. NPO やその他の民間団体	1名	0.3%
14. 新聞・雑誌・テレビ・ラジオ等	47名	13.7%
15. 古座川町ホームページ以外のインターネットの情報サイト	11名	3.2%
16. その他（ ）	8名	2.3%
17. 特にない	32名	9.3%

（未回答者 17 名分除く）

VI. 民生委員・児童委員や社会福祉協議会についてお伺いします

問27.民生委員・児童委員は、社会福祉の精神をもって、誰もが安心して暮らすことのできる地域社会を目指して、さまざまな活動を行っています。民生委員・児童委員が行う活動として、ご存じの内容を選んでください。【〇はあてはまるものすべて】

1. 日常生活の悩みや心配ごとの相談	153名	46.8%
2. 福祉に関する情報の提供	116名	35.5%
3. 高齢者など支援が必要な人への訪問	198名	60.6%
4. こどもに関する相談	58名	17.7%
5. 関係行政機関の依頼による事実確認	57名	17.4%
6. いずれも知らない	80名	24.5%
(未回答者 34名分除く)		

問28. 町には、地域福祉を推進し、社会福祉への住民参加を促し意識の高揚を図るための諸活動を行う「古座川町社会福祉協議会」があります。あなたは、社会福祉協議会にどのようなことを期待しますか。【〇は3つまで】

1. 訪問介護等の介護保険サービスの充実	190名	59.0%
2. 介護保険制度以外の在宅福祉サービスの充実	142名	44.1%
3. 児童福祉サービス、子育て支援の充実	41名	12.7%
4. 児童・生徒・地域住民を対象とした福祉教育、ボランティア活動等の充実	29名	9.0%
5. 福祉に関する情報提供の充実（インターネット等を含む）	44名	13.7%
6. 近隣同士の助け合いの仕組みづくりとその充実	69名	21.4%
7. NPO活動などへの支援	3名	0.9%
8. 福祉に対する要望、ニーズの把握とサービスの企画・実施	3名	13.4%
9. 福祉に関する相談や苦情の受付	67名	20.8%
10. 福祉団体への支援や育成	5名	1.6%
11. 地域福祉権利擁護事業（一人暮らしの認知症の高齢者や知的障害のある人等、一人で判断することが難しい方に対する金銭管理等のサービスや福祉サービス等利用支援）	59名	18.3%
12. 福祉に関する学習や講習、講演会などの開催	31名	9.6%
13. その他（ ）	1名	0.3%
14. 特に期待することはない	22名	6.8%
(未回答者 39名分除く)		

VII. ボランティア活動や福祉教育についてお伺いします

問29.あなたは、今までにどのようなNPOやボランティア活動に参加したことがありますか。【〇はあてはまるものすべて】

1. 高齢者に関する活動（高齢者の見守り活動・趣味のクラブ活動等への協力・老人施設等訪問）	46名	14.1%
2. 障害のある人に関する活動（手話や音読・点字訳による支援や外出支援、施設訪問）	7名	2.1%
3. 子育てに関する活動（託児・子育て相談や子育てサークル支援）	8名	2.4%
4. 保健に関する活動（健康教室等の支援、献血ボランティアとしての活動）	9名	2.8%
5. 青少年に関する活動（悩み相談や交流、子ども会活動などの支援）	2名	0.6%
6. 環境美化に関する活動（自然愛護や美化活動、リサイクル運動）	87名	26.6%
7. 福祉のまちづくりに関する活動（地区社協活動、福祉マップづくり）	13名	4.0%
8. 人権が尊重されるまちづくりに関する活動	3名	0.9%
9. 国際交流に関する活動	7名	2.1%
10. 災害時の救援などに関する活動	57名	17.4%
11. 地域の行事のお手伝い	167名	51.1%
12. その他（ ）	3名	0.9%
13. 参加した経験はない	113名	34.6%
（未回答者 34名分除く）		

問30.あなたは、今後、どのようなNPOやボランティア活動に参加したいですか。

【〇はあてはまるものすべて】

1. 高齢者に関する活動	70名	23.0%
2. 障害のある人に関する活動	30名	9.8%
3. 子育てに関する活動	14名	4.6%
4. 保健に関する活動	15名	4.9%
5. 青少年に関する活動	6名	2.0%
6. 環境美化に関する活動	68名	22.3%
7. 福祉のまちづくりに関する活動	32名	10.5%
8. 人権が尊重されるまちづくりに関する活動	21名	6.9%
9. 国際交流に関する活動	5名	1.6%
10. 災害時の救援などに関する活動	97名	31.8%
11. 地域の行事のお手伝い	158名	51.8%
12. その他 ()	29名	9.5%
13. 参加したい活動はない	55名	18.0%
(未回答者 56名分除く)		

問31. 今後、どのような条件を整えばNPOやボランティア活動に参加しやすくなると思いますか。【〇は3つまで】

1. 自分にあった時間や内容の活動があれば参加してみたい	181名	62.0%
2. 自分の仕事や特技を生かせることがあれば参加してみたい	84名	28.8%
3. 活動資金の補助、援助の充実がなされるのであれば参加してみたい	9名	3.1%
4. 平日夜間や休日のボランティア講座を受けてから参加してみたい	4名	1.4%
5. 友人や家族と一緒に活動できるのであれば参加してみたい	82名	28.1%
6. 家族や職場の理解が得られれば参加してみたい	17名	5.8%
7. 自分の所属する学校や職場の活動であれば参加してみたい	6名	2.1%
8. ボランティアグループに入れるのであれば参加してみたい	10名	3.4%

9. 身近な団体や活動内容に関する情報があれば参加してみたい	32名	11.0%
10. 活動参加によるメリット（進学や就職に有利、若干でも報酬がある等） があれば参加してみたい	7名	2.4%
11. その他（ ）	22名	7.5%
12. どんな条件が整っても興味もなく、参加してみたいとは思わない	27名	9.2%
(未回答者 69名分除く)		

問32.子どもたちに対する福祉教育(思いやりの心や福祉への理解と参加の心を育てる教育)について、どのように行うべきだと思いますか。【〇は1つだけ】

1. 学校教育の中で学ぶ	85名	23.5%
2. 家庭の中で親から学ぶ	78名	21.6%
3. 地域の活動などを通じて学ぶ	99名	27.4%
4. 生活していく中で自然に身につく	36名	10.0%
5. 特に必要はない	2名	0.6%
6. その他（ ）	6名	1.7%
7. わからない	31名	8.6%
*未回答	39名	10.8%
*重複回答あり 10人で25件の回答、オーバー件数15件		

VIII. 今後の行政運営についてお伺いします

問33.今後、古座川町が取り組むべき施策は、どれを優先して充実すべきだと思いますか。【〇は4つまで】

1. ボランティアなどの参加の促進や支援	35名	10.6%
2. 住民が共に支え合う仕組みづくりへの支援（住民同士や行政との協力・ 連絡など、助け合う組織）	158名	48.0%
3. 身近なところでの相談窓口の充実	88名	26.7%
4. 高齢や障害があっても、在宅生活が続けられるサービスの充実		

	173名	52.6%
5. 保健福祉に関する情報提供や制度案内の充実	51名	15.5%
6. 健康増進・維持のための相談や訪問指導などサービスの充実	64名	19.5%
7. 健康診断・がん検診などの保健医療サービスの充実	65名	19.8%
8. サービス利用者などを保護する権利擁護や苦情対応などの取り組み	13名	4.0%
9. 福祉教育の充実	24名	7.3%
10. 高齢者、障害者の入所施設の整備、	160名	48.6%
11. 保育サービスや児童福祉施設の充実	31名	9.4%
12. 低所得者の自立支援	63名	19.1%
13. その他（ ）	11名	3.3%
14. わからない	15名	4.6%
(未回答者 32名分除く)		

問34.その他ご意見、ご要望等がありましたら、ご自由にお書きください。

(個人名等が特定される部分は修正済み)

- ・健康寿命を1年でも2年でも延ばす方法を考えたら良いと思います。
- ・健康寿命促進の町を造る。(条例含む) ※健康寿命を平均寿命に近づける方法 etc.
- ・役場担当者に要介護者認定相談をしたところ、拒否され(認定を)、数か月後に知人に言ったところ、もっと軽微な人でも認定されているのにおかしい、再度申請する事を勧められ、申請すると要介護①に認定された経緯がある。福祉課として、このような担当者が窓口として対応している事をどの様に思っているのか。
- ・道路を整備してほしい。
- ・認知症対策で紀南地方の何処か障害者(重度)認知症の施設が作れないか、悲惨な状態になる前に入所して頂ければ家族が救われるのでは、大変金のかかる問題だが紀南に1カ所園があればと考える次第。
- ・危険な人家の防護対策の充実、奥地の県道の路面の整備。
- ・質問が多いと思います。
- ・人口の多い高池地区を置いておいて明神へ福祉センターを作ったのは賛成できない
- ・昔、林業で栄えた町ですが今は衰退し少子化、高齢化社会、どのように運営していけ

るか？ 何か町おこしにアピール出来るイベントなど発進できたら良いなとも思うのですが。

- ・買物弱者（車に乗れない人が多くなった時）が多数になり、現在持売り販売業者が高齢になり売りに来なくなった場合、週一回でも「移動スーパー」などが奥地まで販売に来られる様な仕組みを考えてほしい。
- ・障害者への対応にはもう少し誠心誠意をもって対応してほしい。行動をもっと早くしてもらおう事を望む。
- ・健康面の事だけではなく、講演会（たとえば前向きな心のもちかた、又、時間を忘れる、笑える話、又大人向けのよみきかせ等々）を開いてはどうでしょうか。
- ・いろいろなイベントや催しがあっても、そこまで行く交通手段がなく、また、年とともに自転車で行ける範囲もせばまり、段々と自分の世界が狭くなっています。同居家族がいても日中は一人なので、不安な事もあります。
- ・仕事をさがして下さい。
- ・福祉の世話になっています。有難うございます。
- ・買物に行きたいのですがバスの回数をふやしてほしい。七川から朝7時20分ごろ出て昼過ぎ、2時頃家に着くのはちょっと大変、せめて12時までには帰れないかとも思う。
- ・30年後には古座川町は無くなっています。古座川町が産業を起こし、生きて行くしかない。民では無理。
- ・総合病院が近くにない為、遠方まで行かなければなりません交通に悩まされます。良い方法がないでしょうか？
- ・現在の行政に何の不足もございません
- ・町の広報紙に住民一人一人が主役になれる、やわらかい、記事があればと思います。
- ・先ごろ、とある研究所が発表して話題になった自治体消滅との関連で、古座川町も25年後には人口千人になる予測が出ています。年齢構成が逆ピラミッド型になるのは目に見えてて、老人の介護のみで、シカや猪が道路を歩いているのが目に浮かびます。もはや町の力では・・・・と半ばあきらめぎみです。
- ・一人暮らしの人の死をどうやってみつけるのか。他の県では郵便屋さんが見守りの役目をはたしている所もある。郵便受けがいっぱいになっていたら役場に知らせる等。
- ・図書室に医療や健康についての本を充実させてほしい。
- ・筋肉をきたえる為の器具を用意してほしい。
- ・医療に関わる人材を育てると同じに予防意識も高めなくてはならない。
- ・地域づくり的なNPOは過疎高齢化が進んで、集落機能を維持していくためにも必要だと思うが、問題は人材があるかどうか。
- ・色々の行事は高池ですするため七川からは足がなく出席しにくい。足がほしい。

- ・不便なので、ケイタイをつながるようにしてほしい。
- ・毎日の食事買物が大変です。若い者は仕事で忙しく夜も遅いので一人で食事こしらえて食べるが大変になってきた。息子が若くして死亡して嫁さんが働かないと生活がなりたないため老人一人でくらし居りますが食事をするのが困りますのでどうか援助して頂きたいです。
- ・一暮らしです。毎日の食事作りが面倒、食事内容が片寄りがちです。古座川町では配食を行なっていると聞いた事があります。どの様な基準か知りたいと思います。
- ・役場の職員を減らして（残業も）、パートにして下さい。
- ・一人で生活出来なくなった場合年金で入所出来る介護施設を増やしてほしい
- ・高瀬会の中にある福祉施設の建物をもっと多く立ててほしい。（例 あじさい園・グリーンビレッジみたいな建物）
- ・古座川町は色々の面で老人に対してもよく考えてくれていると思い感謝してます。有難うございます。
- ・常々感謝してます。
- ・既成概念や慣習にとらわれない発想の登用推進、具体的テーマに対する意見の公募等
- ・高齢者が多い町だけど、もう少し子供のことを考えた町にしてほしい。（将来の古座川をささえる子供たちなので）
- ・高齢者及び障害者へもっと町会議員の人達も民生員も福祉の人達ももっと見てやってほしい。
- ・私は車椅子生活ですので解答には妻を含めての解答です。都市部に住んでいた頃は福祉大会や催しには色々参加しましたがこちらへ移って来てからは年のせいもあるのでしょうか、又、私のような障害者の友達がいないので、家にこもりがちの方が多いです。福祉大会も1年に1度は催していますが体育館へのスロープがないのでどうも参加しにくい。でも最近体力が落ちました。
- ・地域住民同士の見守りは結構ですが、亡くなった祖母のように干渉を嫌うタイプの人への対処としては有効ではないと思います。あとアンケートですが匿名にしても誰かバレバレですよ。狭い地域ですし、手間がかかったとしても、直接ヒアリングしないと、価値ある意見は聞けないと思います。

参考資料編

1. アンケート結果のまとめ

■地域の概念

・地域の範囲については「自治会」と考える方が一番多く小差で「古座川町全体」、「旧町村」と続いています。また、回答者の50%以上の方が40年以上現在の地区に居住しており、地域に対して愛着が高く、地区行事への参加など隣近所や地域のつながりが強いと感じています。特に地域のつながりという点では、自治会への参加が多く、4分の3近い回答者がある程度以上参加したことがあり、また近所とは親しく付き合っているとの意見は半数を超えています。

■自然環境

・「自然環境」について、獣害対策や草刈り等の負担や不安がありました。
・災害に対する不安を抱えている方も多く、防災の啓発や自治会等の自主防災組織への助成制度を周知活用し、地区内の連携で災害へ備えると共に、避難行動要支援者リストの整備を続ける必要があります。

■交通・生活環境

・「交通」について、「車以外の交通手段がない」「バスの運行本数が少ない」等、移動に支援等を必要とする人にとっては不便さを感じている方が多くいました。また、高齢により運転免許を返上した後の生活環境（買い物や通院等）に、不安を抱える傾向がうかがえました。
・また、町内の道路や橋に対する整備や空き家の処分、活用法等の要望があります。
・移動販売や配食サービス等の充実、宅配業者が見守りを兼ねた関係を構築する必要があります。

■地域の拠点・自治会等団体活動

・アンケート中、子育て世帯から「子どもが安全に遊ぶ場がない」「将来を支える子供たちのことを考えた町にしてほしい」といった意見があります。

■共助の意識について

・地域への愛着が高く、近所付き合いも親しく付き合っている方が多数を占め、共助の意識が高くなっています。しかし、「支援をしたいが自分のことで精一杯」という回答も多いです。このことから共助の意識の高さを持続、発展させ、実際に住民と行政が共に地域の福祉課題を解決できるように、体制づくりを進めていく必要があります。

■福祉への情報・啓発について

・地域福祉に関心が薄い方に対しては、住民全員が地域福祉に関わっている（助ける、助けられる、両面で）という意識を啓発していく必要があります。また、地域福祉に関

する情報の積極的な周知や、広報の工夫をすることも求められます。

・回答者の 6 割近くが、福祉サービスの情報についての適切な提供の機会や相談対応を望んでいます。主な情報の入手先が町の広報誌やパンフレットであり、友人や家族からの話がこれに続きます。町職員をはじめ、専門の相談員や支援員による案内や選択支援を望む人が気軽に利用できるよう整備する必要があります。

■日常生活での不安解消について

・日常生活上での不安解消には、行政や民生委員、社会福祉協議会の窓口が困った時の相談相手として選ばれるよう広報し、適切なサービスや機関へ繋げることが大切です。また、自分や家族の健康や老後のことが、「日常生活の悩みや不安の調査項目」において最も高く、地域福祉施策の大きな課題の 1 つとして取り組む必要があります。

・移動手段の支援について、公共交通機関に乏しい本町では自家用車が生活に必須です。このため高齢となっても運転免許の返上は難しく、車がなければ日々の買い物や通院が大きな負担となります。移動支援の工夫が求められます。

■地域活動・ボランティア活動について

・地域柄、ボランティアという概念自体の周知、浸透が必要です。
・町内では、地域活動またはボランティア活動を行うことを目的とした特定の団体が少ないが、自治会（区）が近隣の清掃等、同様の活動を行っています。

■福祉、介護サービスの利用について

・「よりみち喫茶」のような高齢者の交流、自主活動の場を周知し、行政も参加して老後の積極的な健康づくりを推進し、不安の解消に繋げる必要があります。

・よろず相談会等、行政から福祉サービスの利用について、いざという時は適切に利用できるように、案内や相談窓口の設置を周知していく必要があります。

2. 各福祉計画策定委員会開催日

平成27年10月29日（木）	福祉計画策定委員説明会
平成27年12月 4日（金）	福祉計画策定委員会 第1回会議
平成28年 3月29日（火）	福祉計画策定委員会 第2回会議
平成28年 7月29日（金）	福祉計画策定委員会 第3回会議
平成28年11月 8日（火）	福祉計画策定委員会 第4回会議
平成29年 2月20日（月）	福祉計画策定委員会 第5回会議

3. 古座川町障害者基本計画及び障害福祉計画策定委員名簿

氏名	選出団体及び役職等	備考
切土 桂	高 瀬 会 理 事 長	委員長
橋本 尚視	区 長 連 合 会 長	副委員長
佃 透	区 長 連 合 会 長	平成28年4月まで
松尾 教子	人 権 擁 護 委 員	
宮野 章克	身 体 障 害 者 協 会 長	
奥根 公平	老 人 ク ラ ブ 連 合 会 長	
後地 勝	老 人 ク ラ ブ 連 合 会 長	平成28年9月まで
山口 美和子	民 生 委 員 児 童 委 員 会 長	
山崎 守雄	民 生 委 員 児 童 委 員 会 長	平成28年11月まで
塩崎 貴之	社 会 福 祉 協 議 会 事 務 局 長	
北地 生	サ ポ ー ト セ ン タ ー と も	
前 邦朋	相 談 支 援 事 業 所 ヴ ィ ー タ	
平原 正雄	工 コ 工 房 四 季	
和田 充旦	教 育 長	
谷口 智信	税 務 住 民 課 長	
西 武彦	健 康 福 祉 課 長	
仲本 耕士	健 康 福 祉 課 長	平成28年3月まで
計画アドバイザー		
金川 めぐみ	和 歌 山 大 学 経 済 学 部 准 教 授	
生駒 健夫	東牟婁振興局健康福祉部串本支所副部長	
久保田 清之	東牟婁振興局健康福祉部串本支所副部長	平成28年3月まで

任期は平成 27 年 10 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日まで

(敬称略・順不同)

古座川町福祉計画策定中実施内容報告書

発行：古座川町

編集：古座川町 健康福祉課

住所：〒649-4223

和歌山県東牟婁郡古座川町川口254-1

T e l 0735-67-7112

F a x 0735-72-0172

発行年月：平成29年 3月